



志

学校だより

R5 .2 .14

四日市市立内部中学校 第 41 号

健康を大切に

2月6日(月)に、学校三師(学校医、学校歯科医、学校薬剤師)にお越しいただき、『学校保健員会』を開催しました。この会議は、生徒たちの健康や体力についての状況について調査や分析したことを報告し、その上で専門的な見地からの意見や助言をいただくことが、主な目的となっています。

まず話題となったのは、怪我の多さです。このことは、生徒たちが発達段階にあるこ



とも一つの要因となっているとのことですが、コロナ渦にあり、運動や身体を動かす機会が十分でないことも影響しているのではとの意見もいただきました。怪我は誰もしたくはないものです。そのためには、普段から積極的に身体を動かして、丈夫な身体をつくることが重要だとアドバイスいただきました。転倒等に受け身がとれることも大切なので備えておきたいです。また、カルシウムを意識して摂って、骨を強くすることで骨折のリスクが減ることも教えていただきました。

体調不良とならないためには、何よりも規則正しい生活習慣を継続することが重要だとのことでした。睡眠や食事は特に大切ですし、スマホやパソコンを長時間見ることは、やはり避けるべきだと教えていただきました。特に就寝前にスマホ等の画面を見ることは、よくないようです。

また、現代社会が抱える課題でもありますが、心の悩みを抱えたり気持ちが落ち込んだりする人もいることと思います。このことに対しては、コミュニケーションを多くすることが一番だと教えていただきました。こちらもコロナ渦の影響で、他者と話す機会が減っていますが(昼食も黙食です)、できるだけ様々な人と話すよう心がけたいものです。悩みがあったら、誰かに相談したり打ち明けたりするようにして、一人で抱え込まないようにすることが大切です。

後期の生徒保健委員会では、「薬について考えよう」をテーマに調べたことをまとめる活動に取り組みました。その内容についても発表して、ご意見をいただきました。まず何よりも、薬物に対する正しい知識を持つことが必要だということと、服薬に関しては、医師や薬剤師の指示を守ることが大切だと教えていただきました。調査結果では、薬をもらったりあげたりする人が8%程いましたが、どんな成分かわからない薬のやり取りは、大変危険であるとのお話でした。また、エナジードリンクを日常的に飲んでいる生徒が14%程いる結果に、三師のみなさんは驚いてみえました。糖分やカフェインが多く含まれているので、中学生は基本的に飲まない方が良いとのことでした。大人が飲むのは構わないが、効果については疑問があるとのことでした。

毎日を幸せに確かに生きるためには、何よりも健康が大切です。助言を活かしたいものです。

コミュニティスクール運営協議会

2月9日(木)に、今年度の最終となる見出しの協議会を開催しました。今回は、2学期末に実施した「教育活動に関するアンケート」等の結果を元に行った「学校自己評価」について、ご意見をいただきました。

アンケート結果は、昨年度と比べて数値が概ね同じでしたが、「十分である」の割合が減った項目や、教職員が「十分である」と感じていても、保護者や生徒の評価との間にズレがあるものについて丁寧に見つめ直して報告するとともに、アドバイスをいただきました。



特に『学校は、生徒に授業をわかりやすく教えている』の項目において、教師の「十分である」のポイントが大きく下がっていることが話題になりました。このことは、授業にしっかりと取り組んでいるものの、「主体的・対話的で深い学び」が、充分に実践できていないと感じている教師が多いことが影響していると考えられます。以前のコミュニティスクール運営協議会でも指摘があったように、学校は『生徒が主役』であるべきです。今後も、生徒たちが主体的に探究できる授業となるよう、授業改善に継続的に取り組んでいきます。また、委員からは、「先生方がもっと自信を持って授業に取り組んでほしい」といった意見もいただきました。このことも、研修の充実や、試行錯誤することで、自信とプライドを持って授業に取り組めるようにしていきます。また、設問も『授業はやりがいがあって楽しい(充実)』等に、変えていく必要があります。

また、「学校は、豊かな心を持ち、命の大切さや人権を大切にする生徒を育てようとしている」の項目において、生徒の肯定的な回答が多くなったことを評価していただきました。このことに対して「生徒たちが、学校だけでなく地域においても、気持ちの良い「あいさつ」ができていることが、良い数値につながっている」との意見をいただきました。「あいさつ」はコミュニケーションの第一歩ですし、他者を慮る気持ちがなければできないことです。「地域にとってもとても良いことなので、是非継続してほしい」との意見もいただきました。ずっと大切にしたいです。

後半は、『よりよい内部中学校にするために』をテーマに、協議しました。「学校が抱えている諸課題をどう解決していくか」に対して、「生徒たちはもちろんのこと、保護者や地域の方々との対話の機会を多くするべき。可能であれば、『学校・保護者・地域』の三者で話し合うことができる」との意見をいただきました。様々な立場にある方の意見に耳を傾けることは、自らの取り組みを客観的に見つめ直すことにつながります。また、「学校アンケートに自由記述できる欄を設け、多様な意見や考えを聴き取るべき」といった意見も出されました。更に、『学校づくりビジョン』にもある『夢と志』を大切にしながら、教育目標である『知性豊かに心さわやかたくましく生きる』を具現化して行ってほしい、とのご意見もいただきました。

協議する前に、学校全体の授業の様子を見ていただきました。「生徒たちが笑顔で取り組んでいる」「仲間と楽しそうに対話している」「ひたむきな姿がかわいい」等の感想をいただきました。

※「学校自己評価の集計結果と考察」は、本校のHPに掲載してあります。ご覧ください。